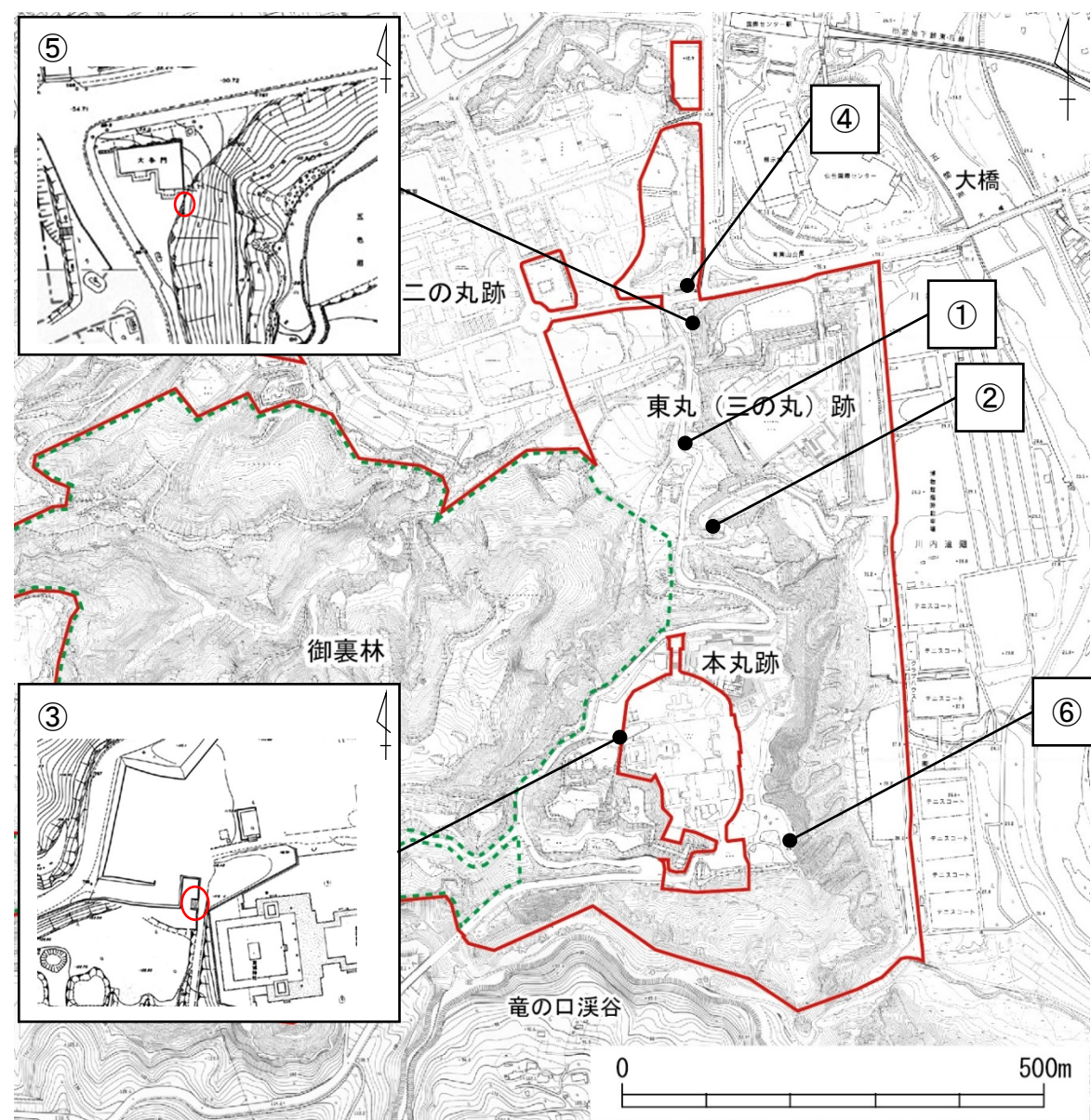


福島県沖地震による被災状況について

令和3年2月13日(土) 23時9分に発生した福島県沖地震および複数回にわたる余震による、史跡仙台城跡の主な被災状況は以下のとおりです。

概要：石垣崩落2箇所（沢門下石垣・酉門石垣）計4石、石垣変形2箇所（中門北・南側石垣）、大手門北側土塀の亀裂および剥離、地すべり2箇所（本丸異櫓跡付近崖面、大手門脇櫓付近の法面）

場所	被災状況	応急措置 (R3.3.3時点)
①中門石垣	南北2箇所の石垣で変形(ハラミ、石材のズレ等)が生じ、間詰石が落下している。	特に落下の危険性が高かった南側石垣の石材3石の取り外し、およびブルシートによる養生を行った。 石垣前面への大型土嚢の設置(予定)
②沢門下石垣	石垣の変形が見られ、天端石1石が落下している。	危険区域への立ち入り禁止柵の設置(予定)
③酉門石垣	石材が3石と、間詰石が多数落下している。	
④大手門北側土塀	土塀自体の位置がずれて歪んだ影響で亀裂と剥落が発生している。	
⑤大手門脇櫓付近の法面	法面の表土0.2m程度が地すべりを起こし、現地表から0.5m程度沈下している。	
⑥本丸異櫓跡付近の法面	崖面の表土0.3m程度が地すべりを起こし、現地表から0.7m程度沈下している。	



被災箇所 位置図



①-1 中門北側石垣(南西から)



①-2 中門南側石垣(北東から)



①-3 中門南側石垣応急措置(東から)



② 沢門下石垣(南東から)



③ 酉門石垣(北から)



④ 大手門北側土塀(南から)



⑤ 大手門脇櫓付近法面(北から)



⑥ 本丸異櫓跡付近崖面(北から)